

歩
あゆみ



2021年(令和3年)
第2号

1月24日(日)

野球部スタッフ一同

宮井 一真

～魅力的な大人になる～

神戸市北区唐櫃台
2丁目41番1号

078(981)0131

緊急事態宣言について

財産・環境などに危険が差し迫っているときに発令されます。

財産・環境などに危険が差し迫っているときに発令されます。

新型コロナウイルス感染症拡大により以前に直近で緊急事態宣言が発令されたのは、2020年の東日本大震災のときです。地震の影響により、東京電力福島原子力発電所での原子力事故が起き、多量の放射線が放出されました。そして、東日本大震災の翌日の3月12日に緊急事態宣言が発令されました。放射線を多量に被ばくとすると、DNAや細胞が傷つければ、白血球が減少したり、がんの発生率が高くなるなど、人体へ悪影響を及ぼします。そのため、当時は原子力発電所から半径200km圏内の住民への避難指示が出され、生活にもかなり影響を受け

断ち切る勇気を

さて、冒頭で震災のことに書いて書いた。「先人の経験を次の世代に受け継いでいく」と。元人の経験とは先輩が残してきたもの。次の世代とは、分かつての世代とは思うが後輩のこと。自分たちが今筑き上げていくことは、後輩が受け継いでくれること。この積み重ねが伝統になる。先輩が積み上げてきたことは、簡単な壊すことは、できない。しかし、良い伝統であれば

後輩につないでほしいが、悪いき伝統で会った場合はどうか。加えて、人はされてきたことを人にする。これもあまり気分が良くないものであった場合もしてしまふことが多い。この負の連鎖を誰かがどこかで断ち切らなければ、新たなものは生み出されない。果たして本当にそれが必要かどうかを考えてみてはどうか。それが何年後かに戻ってきるときに伝統になつていけばこんなに誇らしいことはないと思う。一歩踏み出す勇氣を持つてほしいと願ふ。

(宮井 一真)

身から出た錆

「みからでたさび（自分の犯した悪行の結果として自分自身が苦しむこと）」ようれんさん先週

の話である。娘から溶連菌感染症をもらい、出勤停止を命ぜられ休んでいるのは御存知のとおり。君たちが大喜びしているのならまだしも、休んでいいことさえ知られないあたりがその存在感を物語る。そんな形で先週に休んだため、今週の授業は先週分も行うために盛沢山だった。いつもの週とは違い、業務量が圧倒的に増えたのにはもちろんのこと。けれど、今週を迎えるにあたって決めていたことがあやむける。それが冒頭の一言だ。自分が休んだのだからこの忙しさはやむを得ない。言い換えると自業自得（自分でしたことの報いを自分の身に受けること）。文句

たれの性分（生まれつきの性質）は、ごうぶん 自他共に（自己評価と他人の評価が一致していることを示す）に認める。だからつい言い不満を言うようになるのだが、言わない努力をした。そこには、わざわざ時間割変更をしてくださった先生や、私の代わりに授業に出てくださった方々の存在があるから。今週も暮るれ、本当に乗り越えられたかはわからなないが、自分と戦った充実感はある。自分に甘い私は35歳にもなった今もまだまだ戦っている。10代の君たちが自分に甘いのは理解できる。でも、そんな自分を認め、少しずつでも自らと戦えられたのなら…魅力的な自分に近づけるのだと思う。私もまだまだ発展途上。共に。（福本 友貴）

インドの格言

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。昨年からは引き続き外部コーチとして務めさせていただきました。よろしくお願ひします。

今年も身体的、精神的に辛い冬季練習が始まりました。そこで、私が大学時代に読んだ本で印象に残った言葉を送りたいと思います。「明日死ぬかのように生きよ、永遠に生きるかのように学べ。」この言葉はインドの宗教家の言葉です。君たちに当てはめると「明日死ぬかのように練習し、永遠に生きるかのように勉強しなさい」です。ねこの言葉を選んだ理由は、「命≡時間」という事と、「生涯勉強できるものを見つけたら、死んでも後悔しません。そして、死ぬまで突き詰めるものを見つけて下さい。突き詰める」とそれが「魅力」になると思います。参考程度で覚えてくれれば幸いです。ちなみに私に当てはめると「明日死ぬかのように仕舞い込んで生きるかのように勉強しなさい」です。君たちだけでなく、私も難しいです。う気持ちであります。う。共に頑張りましょう。（木村 健斗）

宮井のつぶやき

以前ミーティングで「未知の知」という言葉について言ったのを覚えているだろうか。復習程度に書くと、ソクラテスという哲学者が残した言葉だ。「何とも知らないことを自覚する」。これに気付けるかどうかが今後の君たちの成長につながる。私は思う。

校訓

誠 規 親 實
實 律 愛 踐

校歌

市土の森なる

松高

峰山峽の水澄みて

居櫃の丘に

びえ立つ

我が学び舎に

栄あれ

ああ、我らが

神戸北高校

